

シンポジウムの参加は無料です

人口減少社会の高齢者ケア ～外国人介護士との協働～

2030年までに100万人の介護職員が不足すると予測されている。人口減少社会においては、少ない人材で社会を支える必要があるため、多様な人材による質の高い働き方が求められる。ところが外国人住民や海外人材については政策上の位置づけはない。このシンポでは多様な人材の中でも外国人住民や海外人材を取り上げ、グローバルな動向や人口減少社会を考慮しつつ、どのような協働が可能で望ましいのか、将来の介護のあり方について考える。

日時 5月17日(日)13:30～16:30

場所 群馬県勤労福祉センター
(群馬県前橋市野中町361-2)
TEL.027-263-4111

駐車場 350台

アクセス JR両毛線 前橋大島駅北口より徒歩15分(約1km)

参加方法 【tokiwa_group@aw.wakwak.com】へメール
もしくは、【0284-64-9977】へFAX

※ お手数ですが、お名前・所属・役職を明記の上お申し込み下さい。

当日の講演者

安里 和晃 京都大学大学院文学研究科特定准教授(進行)

堀 永乃 グローバル人材サポート 浜松代表理事

二文字屋 をさむ NPO法人 AHPネットワーク専務

佐野 哲 法政大学経営学部経営学科教授

県内で働く外国出身の介護士

鈴木 由希 (フィリピン国籍 有料老人ホーム勤務)

サヤス ジセル (フィリピン国籍 通所リハビリテーション勤務)

長島 泉 (ブラジル国籍 有料老人ホーム勤務)



主催/京都大学大学院 文学研究科 安里研究室
共催/太田国際介護アカデミー株式会社
後援/群馬県、上毛新聞社

本シンポは公益財団法人トヨタ財団の助成を受けています